

入選

加知 崇将 (かち たかまさ) 長池小 3年生

作品名：かわいそうなごん

図 書：ごんぎつね

ぼくは、表紙を見て、きつねがかわいいのと、動物に興味があるので、この本をおばあちゃんに買ってもらいました。

このお話は、悲しいお話でした。ごんといういたずらきつねと人間の兵十が出てきます。芋をほりちらかしたり、菜種に火をつけたり、とうがらしをむしりとったり色々ないたずらをしていました。ある時、川下で兵十がうなぎを取っている所を見て、兵十がいなくなったすきにびくの中味をすべて川に投げこみました。その後、兵十に見つかり大急ぎでにげました。

十日経つと兵十のお母が死んでしまいます。穴にもどって、兵十のお母が死ぬ前に、「うなぎを食いたい。」と言ってた事に気づきごんは、とてもごうかいしました。次の日、ごんは、盗んだいわしを、兵十の家の中に投げこみました。けれども兵十は盗び人と思われてなぐられてしまいます。ごんは、その事に気づいて兵十に悪かったと思い、山から拾って来たくりやまつたけを兵十の家におきました。何度も何度もくり返しおきました。

最後兵十に、いたずらをしに来たと思われ銃でうたれてしまいます。きっとごんがいたずらしなければ生きてたと思います。ごんが兵十のためにがんばっているのがわかり泣きそうになりました。いたずらしたごんは、ごうかいしたので、兵十にあやまりたかったと思います。

ぼくだったら、動物は大好きなのでいたずらした動物がいても動物を銃でうてません。「いわし安売りだい。」の所や最後のうたれた場面で話しかけたらうなずいていたので、ごんは、人間の言葉がわかるので、しゃべると思います。

ぼくが兵十だったら、動物から見た山のけしきやどんな所でどんな生活をしているか知りたいです。家族みたいに一緒にすごしたいです。家族みたいになれたらごんに人間の文字や言葉、遊びを教えてあげたいです。文字や言葉が覚えられたら、兵十に手紙や話が出来て相手に気持ちを伝えられると思います。そして、最後のお話の内容が違っていたと思います。ごんは、兵十に銃でうたれなくて、ごんが言葉がわかったら一緒に山にくり拾いやまつたけがり、うなぎ取り、おきょうを読んだり、食事をしたり兵十と出来たと思います。仲良くすごせるなら友情のお話になると思います。ぼくは、色々な気持ちを考えさせてくれたごんに会いたいです。